

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
半期	1 年	2	選択
担当教員			
飯塚 真弓			
C (商学部)	L (基礎科目)	HC (人間と文化)	103 (基礎・入門科目)

授業のねらい (概要)	現代のグローバル化の波は、私たちの身近な地域コミュニティにも、民族、宗教、国籍、ジェンダー、価値観、ライフスタイルなどが異なる人々がともに暮らす多文化・多民族化をもたらしています。私たちは多様な文化的背景をもつ人々をいかに理解し、共に生きるべきでしょうか。この授業では、主に文化人類学の手法を用い、異なる社会の異なる民族と宗教についての文化や慣習を学ぶことをとおして、自分が暮らす社会や文化を相対化し、他者理解の視点を身につけることを目指します。		
授業計画	第1回	ガインダンス 講義概要、スケジュール、評価方法の説明、宗教と民族について概説、日本人の宗教観 予習 (時間) : シラバスを熟読 (30) 復習 (時間) : 授業内容の確認 (60)	
	第2回	民族音楽の世界 音楽を糸口にして世界の多様な民族と宗教、歴史や現在への興味関心を深めていきます。実際に民族音楽の音源を聴き比べます。 予習 (時間) : キーワードの確認・学習 (60) 復習 (時間) : 授業内容の確認 (60)	
	第3回	信じる 信じるという行為はどのようなものか、世界の宗教や信仰についての基礎知識を学びます。 予習 (時間) : キーワードの確認・学習 (60) 復習 (時間) : 授業内容の確認 (60)	
	第4回	世界の食文化① コーヒーという嗜好品を事例に、宗教と嗜好品、世界の喫茶文化の歴史と現在を読み解いていきます。 予習 (時間) : キーワードの確認・学習 (60) 復習 (時間) : 授業内容の確認 (60)	
	第5回	世界の食文化② 世界の食文化と食にまつわる宗教実践について学びます。 予習 (時間) : キーワードの確認・学習 (60) 復習 (時間) : 授業内容の確認 (60)	
	第6回	プレゼンテーションⅠ 受講生によるプレゼンテーション 予習 (時間) : プレゼンテーションの準備 (90) 復習 (時間) : 授業内容の確認 (60)	
	第7回	ファッションの人類学① 装うという行為から世界の民族や宗教、暮らしについて考えます。装飾品やタトゥーなどの身体装飾についても取り上げます。 予習 (時間) : キーワードの確認・学習 (60) 復習 (時間) : 授業内容の確認 (60)	
	第8回	ファッションの人類学② ファストファッション、フェアトレード、世界の古着市場などを事例に、グローバル化とファッションについて取り上げます。 予習 (時間) : プレゼンテーションの作成 (60) 復習 (時間) : 授業内容の確認 (60)	
	第9回	世界の建築と住まい① 宗教建築を中心に、世界の建築文化について概観していきます。 予習 (時間) : キーワードの確認・学習 (60) 復習 (時間) : 授業内容の確認 (60)	
	第10回	世界の建築と住まい② 住居を中心に、世界の様々な環境と風土、人と住まいの関係をみていきます。 予習 (時間) : キーワードの確認・学習 (60) 復習 (時間) : 授業内容の確認 (60)	
	第11回	プレゼンテーションⅡ 受講生によるプレゼンテーション 予習 (時間) : プレゼンテーションの準備 (90) 復習 (時間) : 授業内容の確認 (60)	
	第12回	グローバル化とナショナリズム ナショナリズムや国家、民族という概念はどのように生まれたのか。戦争や紛争、それに付随す	

	る難民、民族問題や差別の問題についても考えていきます。 予習（時間）：キーワードの確認・学習（60） 復習（時間）：授業内容の確認（60） 移民・ディアスポラの世界 移住や移動をテーマに民族や文化の混交の歴史や現状について学びます。 予習（時間）：キーワードの確認・学習（60） 復習（時間）：授業内容の確認（60） 人と人とのつながりを考える 世界の多様な婚姻・ジェンダー・セクシュアリティのあり方を学び、人と人とのつながりの多様性について考えていきます。 予習（時間）：キーワードの確認・学習（60） 復習（時間）：授業内容の確認（60） まとめ これまでの授業の総括を行います。 予習（時間）：これまでの授業の確認（60） 復習（時間）：授業内容の確認（90）
授業を通して身に付けることができる能力（DP）	本授業では、ディプロマポリシーである職業人的倫理観を持ち、組織で協働できる能力、特にグローバルな視野に立って考える能力、および経営資源を多面的に理解し、活用できる能力を身に付け、組織で協働できる能力を養成します。 【身に付くスキル】 生涯学習力・協働力
到達目標	①世界のさまざまな民族と宗教についての理解を深め、その問題について理解する。②異文化を学ぶことによって、他者への想像力、共生への視点を身につける。
課題や小テスト等のフィードバックの方法	授業内で、もしくはmellyを用いてフィードバックを行う。
履修上の注意	世界の民族と宗教にかんして、皆さんが初めて耳にする言葉や理論を取り上げることになりますが、授業では、新聞記事を活用した時事問題や映画、現地調査をもとにした映像資料などを活用しながら解説していきます。授業をきっかけとして、国や宗教を越えて異文化の人々と出会う楽しさと難しさに触れ、日頃から世界の様々な文化や社会について関心を持つことを期待します。また、原則講義レジュメは講義日3日前までにmellyの添付ファイルにて送付することに注意してください。
成績評価の方法・基準	授業内小レポート（10%）、グループワークやプレゼンテーション（30%）、期末試験（60%）により評価します。
教科書	特に指定しません。
参考書・教材	【参考書】よくわかる文化人類学（第2版） 著者名：綾部恒雄・桑山敬己（編） 出版社：ミネルヴァ書房 発行年：2010年 価格：2500円、その他各授業テーマに応じて参考文献を紹介します。
備考	受講者数によってシラバスの内容や授業方式を変更する場合があります。
教員との連絡方法	melly